

令和元年度 第1回 港南区協働による地域づくり推進協議会 開催報告

【日 時】	令和元年6月24日（月）午後3時から午後5時まで
【場 所】	港南区役所5階 地域協働ルーム
【出席者】	藤田会長、木村副会長、五十嵐副会長、福山委員、石川（正二）委員、石川（彰子）委員、谷本委員、高柳委員、塩田委員、守分委員、今富委員
【議 題】	1. 令和元年度における各団体の取組及び区制50周年を記念した取組について 2. その他

【港南区協働による地域づくり推進協議会の概要】

区内の地域活動者や団体が、自治会町内会など身近な地域の中で連携できる関係を築き、地域での活動をより一層進めていくために、区内で活動する各団体の代表者と区役所と一緒に話し合い、情報を交換する場として、平成26年度から設置しています。

◆各委員から

港南区連合町内会長連絡協議会

（藤田誠治 会長：芹が谷）



安全安心のまちづくりの推進を目指して、警察、消防、区役所、地域が連携しながら進めることが大事だと思います。

地域包括ケアシステムについて

では、皆で見守り・支えあいをしていこうというものと理解しています。8月に地区社会福祉協議会と連携して勉強会を実施する予定です。勉強会の中で、身近に認知症の方がいた方のお話を聞いた後に意見交換会をしたいと思っています。

また、障がい者理解の一環として、上大岡に開設される予定の「ラポール上大岡」の見学を検討しています。

連合町内会と社会福祉協議会が連携して「愛あふれる ふるさと港南」にしていきたいと思っています。

港南区社会福祉協議会

（木村妙子 会長：野庭住宅）



福祉ネットワークの活動や支え合いマップ作成の支援を通して、誰もが住み慣れた地域で生き生きと暮らしていけるよう住民主体の支え合い活動を今年度も

も応援していきたいと思っています。

また、第3期港南ひまわりプランを地域の皆さまとともに推進し、第4期計画策定に向けた取組も行っていきたいと考えています。

あんしんセンターについては、利用される方の生活支援などを通してニーズを把握し、身近な助け合いの機能を充実させていきたいと思っています。

地域の人材育成という点では、定年退職を迎えた男性を対象に地域デビュー講座を今年も実施していきます。

港南区民生委員児童委員協議会（五十嵐輝子 会長：日野第一）



民生委員児童委員は12月に委員が一斉改選となります。この一斉改選を機に、民生委員がどのように選ばれ、どのような活動をしているかをもっと知ってもらい、各地区から委員の推薦が進むようにしたいと思います。今民生委員のなり手がいないというのは全国的に言われていますが、欠員が出ないようにしていきたいです。地域で民生委員の話が出た場合は、どのような活動をしているのかを話していただき、いい人がいれば推薦いただきたいと思います。また、委員を交代される方も、1年くらいは新しい方のサポートをしていただくように話をしています。

6月10日に港南区制50周年記念として「北の桜守」の上映会をしました。内容は認知症に関するものとなっており、認知症の方を地域でどう見守っていくか考えていきたいと思っています。

昨年、区障害者団体連絡会と意見交換をし、障がいのある方を地域でどのように支えられるか話し合いました。今年度もこのような活動は続けていきたいと思っています。

港南区地区社会福祉協議会分科会

(福山朝子 会長:日下)



今年度も身近な地域の見守り・支え合いを重点事項として活動していきます。15地区で情報共有をして連携を図り、お互い活性化しながら進めていきたいと思ひます。

港南区の地区社会福祉協議会分科会は活発に意見交換をしていて、市で開催されている地区社協検討会に出席しているメンバーからも、18区の中で港南区は活動が活発だと聞いています。

昨年に続き、困っている人の把握、人材の確保、障がいに関する理解等のテーマ別に意見交換を行っていきます。

今後は区外の取組を参考に港南区の活動の質を高めていきたいと思ひます。

港南区保健活動推進員会

(石川正二 会長:ひぎり)



港南区では「あなたもわたしも健康アクションこうなん5」をさらに進めることを目標としています。

大腸がん検診について、市の受診率の目標は40%となっていますが、港南区では男性が約40%、女性が30%未満となっています。今年度は検診を受診する料金が無料となるので、受診の啓発を皆で行っていききたいと思ひます。

区制50周年記念として11月2日のひまわり健康フェアには力を入れていききたいと思ひます。

また、喫煙防止教室を小学校で開催して今年度は3校を回る予定です。劇を通して喫煙の害について訴えています。区の全体研修会でも受動喫煙の害について学ぶ予定となっています。

港南区スポーツ推進委員連絡協議会

(谷本吉年 会長:港南台)



年間を通してファジーバレエボールの普及、ラジオ体操の普及活動を行っていきます。これから夏休みに入りますが、各自治会町内会等でラジオ体操

を実施する場合は、スポーツ推進委員をその場に呼んでいただければ、指導をさせていただきます。

11月24日のスポーツ推進委員研修会では、グラウンドゴルフ大会の参加者を公募し、来年度以降区の大会にできるよう繋げていく予定です。

健康ランニング大会について、野庭中学校を拠点として行うのは今年度で最後となります。来年度以降どのようにしていくか検討していききたいと思ひています。

港南区消費生活推進員の会

(石川彰子 会長:港南台)



15地区111名のうち、75名が新任となりました。本来は2年間続けてほしいもの1年でやめてしまう人が多いので、今後各連合を通じて継続をお願いしていききたいと思ひます。

現在、悪質商法から皆さんを守ることを目指して活動していますが、委員自身も悪徳商法に関する研修を受けながら、学びつつ発信していききたいです。

高齢者の被害が年々増えており、高齢者の人口増の割合以上に悪質商法の相談件数が増えています。見守りネットワークという形で地域の連携を図り、警察や区役所、自治会町内会等が情報共有することで住民が被害にあわないようにしていききたいです。

港南区環境事業推進委員連絡協議会(高柳勝也 会長:日野第一)



よこはま3R推進事業の中で毎年目標を立てて活動をしています。今年度は前年度より198トンのごみを減らす計画をしています。これは1人1日当たり4グラムゴミを減らす計算となります。

食品ロスに関しては、5月24日に参議院本会議で「食品ロス削減推進法」が可決されました。大手コンビニでも期限を過ぎ廃棄していた食品を割引して販売する取組が始まっています。

日常では、マイバッグを使用して買い物の時のレジ袋を断る、マイボトルを使いペットボトルを使わないといった「リフューズ」という動きもあり、3Rに加え4Rを推進する動きがあります。こういったことを今後地域の中で広めていききたいと考えています。

港南区シルバークラブ連合会

(塩田良英 会長:野庭団地)



シルバークラブは、健康、友愛、奉仕、3つをスローガンとし活動しています。

6月7日からスタートするシニア大学ですが、今年は広報よこはまに募集の掲載をした

ところ、100名を超える応募がありました。ここまで多くの応募があったのは初めてです。出来るだけ多くの会員に知らせたいという思いがあったので、広報等を工夫すれば人は集まると感じました。

世代間交流盆踊り大会、福祉大会、スポーツ大会を重点事業とし、区制50周年とシルバークラブ50周年を併せてお祝いする機会としたいです。また、賀詞交換会を50周年記念式典と位置付け、記念誌も1月までに発行予定です。

港南区食生活等改善推進員会

(守分光代 会長:永野)



食育の推進は年齢を問わず大事なことです。3月5日の50周年記念講演会で中村先生から肥満防止の対策は胎児のうちから必要なため、妊婦さんの食事内容・身体づくりが重要というお話がありました。

港南区では、働く世代に食育を啓発する中で、妊婦さんにもプラスになるような内容としていきたいです。

高齢者の低栄養予防については、去年から10食品群のチェックシートを使いながら啓発活動をしています。また、地域や他団体との協働事業としてひざり連合と「高齢者の低栄養予防講座」を実施するほか、吉原小学校地域防災拠点や障がい者団体等と連携して活動を行っています。

会員になる方が少なく、高齢化も課題となっています。町内会等で推薦いただくと助かります。

港南区役所(今富雄一郎 区長)



11月2日は区制50周年記念式典を開催するほか、「ひまわりフェスタ2019」を開催し、ゆめワールドなど港南中央駅周辺のお祭りが大集合します。また、港南中学校で中学生による文化祭「港南50th anniversary ひまわり festival」を開催します。

12月8日の「ひまわりミュージックフェスタ」では、50周年記念として、小学生の合唱とひまわり管弦楽団のコラボレーションイベントを実施します。

さらに、2月15日にはフィナーレイベントとして元気な地域づくりフォーラムを横浜女子短期大学で開催します。多くの方にお越しいただき、会場をお客さんで埋めたいと考えています。

今年度は主に、災害時における在宅避難の啓発や地域で行う見守りの推進、障がい者に対する理解を進めるポスターによる啓発を行っています。

当日の様子



次回は9月開催予定です